姫路市立山陽中学校　学校通信

キラリ 輝け 山陽中 No.57（26.11.20） 文責　内海雅章

「太平洋戦全国空爆犠牲者追悼平和祈念式」に代えて

毎年、挙行されている上記の祈念式ですが、開催される手柄山平和公園慰霊塔前が、校区内にあることから毎年、生徒会の皆さんが中心となって式典へ参加し、「千羽鶴」を寄贈させていただいております。

今年度開催予定が、10 月 26 日（月）でした。この日は、前日から台風の影響による大雨と突風により中止となりました。

山陽中学校では、11 月 13 日（金）の放課後に生徒会代表により、平和資料館館長へ千羽鶴を届けさせていただきました。









兵庫県の南西部、播磨地方に位置する姫路市が、戦火にあった姫路大空襲は、1945 年 7 月 3 日から 4 日にかけての事です。二度にわたる大規模空襲で当時の姫路の街も焼け野原になり、多くの被害をもたらしましたが、「姫路城」が偶然被害を免れ、焼けなかったことは、有名な話です。姫路城が「不戦の城」と言われているのは、400 年の歴史の中で、一度も戦場になったことがなく、空襲という最大の危機を免れたことにもよります。

また、手柄山山頂に設置された手柄山中央公園の「太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔」は、全国の空爆犠牲者を追悼する国内唯一の施設となっています。この慰霊塔は、高さ 26.75m、武器の象徴である剣を地中に突き刺し、「戦争という剣は二度と抜かない」という不戦の誓いを表現しています。山陽中学校の生徒として、思う事、想う事、学び多い校区であると思います。